



学校だより

入善町立飯野小学校
令和4年6月24日
〔訂正版〕

「百聞は一見にしかず」「百見は一体験にしかず？」

教頭 斉藤 康

北陸も梅雨に入ったと聞きますが、ときおりさわやかな晴れ間も見えます。子供たちはそのような晴れ間を見つけて、少しの休み時間でもグラウンドで走りまわって元気に過ごしています。

休日の晴れている際には、私も子供たちと同じように、軽く走りリフレッシュしています。そして時折マラソン大会に出ています。6月12日(日)にマラソン大会の練習のつもりで初めてトレイルランニング大会(山の中を走る大会)に参加しました。雑誌やテレビ等でどんな感じのレースなのかは見ていて何となく分かっているつもりでした。しかしやってみると、とんでもない。どれだけ大変か、どんなに辛いのか、酸欠で途中ふらついてしまいました。山って登るところですね。走るなんてとんでもないことがよ〜く分かりました。今は、うまく走れないで残念な気持ちと今度はもっとよい記録を出したいという気持ちが私の中で湧いています。

現在、6年生の4人の児童が、7月3日(日)に行われる交通安全子供自転車富山県大会に向けての練習を放課後に行っています。縄はしごを通過したり、ポールの間を蛇行して運転したりしています。見ていると何となくできそうなのですが、やってみるとこれがとっても難しい。私には縄はしごを最後まで渡ることができませんでしたし、ポールはほとんど倒してしまいました。

聞いたり見たりすることも大切かもしれませんが、体験してこそ得られるものも多くある気がします。疑似体験が容易になっている現代ですが、だからこそ実体験が貴重だと思います。ぜひ子供たちには実際に体験し、そこでしか感じられない何ともいえない感覚や感情を味わってほしいと思います。個人的な感覚ですが、今の子供たちは意外に保守的なように感じます。新たに取り組むことに「失敗したらカッコ悪いな」や「自分にはできない」と思いがちなのか、なかなか新たなことに挑戦しないように見えます。そこで私たち大人の働きかけが大切になります。保護者の方から「一緒にやってみないか」などの声かけがあると挑戦しやすくなると思います。ぜひ保護者の方も一緒に新たな実体験をしてみませんか。何ともいえない感覚や感情を味わってみませんか。

第1回学校評議員会の開催

6月7日(火)に、第1回学校評議員会を開き、今年度の学校運営方針やアクションプランについて協議しました。

<学校評議員さんからのご意見>

- ・挨拶は大切。家でも自分から声をかけるようにしている。まずは、大人から声をかけて挨拶を活発にできるようにしたい。
- ・挨拶はおはようだけではなく、ありがとうやごめんなさい等、いろいろな挨拶のシャワーで子供の心を育成していくとよい。
- ・子供一人一人の「うれしい」「楽しい」を大切にしてほしい。
- ・授業を参観して、明るくのびのび学んでいる様子がよかった。
- ・若い担任の先生が多いが、一人一人の子供に寄り添ってがんばってほしい。



<今年度の学校評議員の皆様>

上島	俊晴	様
笹島	幸子	様
飯田	與之	様
大野	康孝	様
滝本	裕子	様

<100m走>

4年男子	5位	米島 海翔
		西島 慶慎
	9位	野坂 太慳
4年女子	1位	名取川遥乃
	2位	定司優々子
5年男子	10位	市川 聖柳
5年女子	2位	寺崎 愛結
	7位	古田 優月
	9位	徳道美亜奈
6年男子	1位	荒井 海晴
6年女子	3位	石田 結愛
	4位	野坂 菜々
	5位	野坂 環加

<50mハードル走>

4年男子	4位	米島 海翔
	4位	西島 慶慎
4年女子	4位	名取川遥乃
5年男子	4位	山本 旺靖
	7位	濱屋 介慳
	9位	市川 聖柳
5年女子	1位	寺崎 愛結
	1位	古田 優月
	3位	徳道美亜奈
	5位	中坪 芽依
	9位	久保田莉子
6年男子	7位	荒井 海晴
6年女子	2位	野坂 環加
	4位	石田 結愛
	6位	瀧本 麦
		野坂 菜々

<中距離走>

4年女子	600m走	1位	名取川遥乃
6年女子	800m走	2位	細田 柚葉
<ソフトボール投げ>			
4年男子	1位	西島 慶慎	
4年女子	2位	船屋 柚乃	
<走り幅跳び>			
5年男子	3位	濱屋 介慳・市川 聖柳	
5年女子	1位	寺崎 愛結	
	2位	徳道美亜奈	
<走り高跳び>			
6年女子	2位	野坂 菜々	
<リレー>			
4年生	3位	西島 慶慎	定司優々子
		名取川遥乃	米島 海翔
5年生	3位	山本 旺靖	古田 優月
		寺崎 愛結	市川 聖柳
6年生	1位	米島 碧斗	石田 結愛
		野坂 環加	荒井 海晴



毎日の練習の成果で、全体的に好成績を収めることができました。3年ぶりの町体で、みんなよくがんばりました！

生き物の命を見つめて ～アゲハの観察～

5月下旬～6月10日（金）

3年生の理科で、チョウの育ち方の学習があります。そこで、ミカンの木にいたアゲハの幼虫を3匹捕まえ、より多くの子供たちに見てもらおうと、児童玄関にその飼育ケースを置くことにしました。

何だろうとのぞきこむ子供、幼虫の動きをじっと観察する子供、昨日との違いを見付けようとする子供…思いの外、子供たちはこの小さな生き物に関心をもちました。幼虫からさなぎに変身した時やさなぎから羽化して成虫が出てきた時には、たくさんの子供が飼育ケースの周りに集まりました。3匹の幼虫は、順に見事なアゲハチョウとなって校庭の空高く飛んでいきました。



チョウが出てきたよ！

きれーい



ほっとタイム



*先生方のほっとする一言を紹介します！

「全力」

西郷 龍真

毎年、暑さと疲労でやる気がなくなってくる時期ですが、私にとっては、それを払拭させてくれる大好きな季節でもあります。なぜかという、大好きな野球の一大イベント、夏の甲子園が始まるからです。全力疾走でグラウンドを駆け回る選手を見ると、元気ももらい奮い立たされます。1学期も残りわずか、このホームグラウンド（飯野小）で、私も全力投球に努めたいと思います。

「久しぶりの挑戦」

徳道 翠

自宅で「バケツ稲」に挑戦しています。家族の突然の「やってみよう」宣言を受けて、新しいバケツを購入し、土や苗を分けていただいて、日々の成長を観察中です。小学校以来の「バケツ稲」。どのくらい土を入れるのか、水はどれくらい必要なのか、手探りで挑戦です。近くの田んぼに目をやると、青々と大きくなった苗が美しく並んでいます。わが家の「バケツ稲」も負けずに大きく成長してほしいものです。

